

【実施区域・面積】

京都府、3.11ha

【生態系タイプ】

里山林、人工林、低層湿原・湿地

【実施区域の状況】

アズビル京都株式会社は、京都府のほぼ中央部にあたる丹波高原に位置している。周囲を山々に囲まれ、人里も近く、田畑が広がる国道沿いに工場と周辺の森がある。人の手によって切り開かれた山林をどのように見守っていくのか、2011年より植生調査を開始、2013年からは春と秋の年2回、グループ会社社員とその家族から参加者を募集し、自然観察や木々の調査、環境整備作業を実施している。この活動を通じ、事業所敷地だけでなくその周りの山林の今後を一緒に考えていく機会にしていきたいと考えている。

【目標】

以下の3つの側面から、「アズビル京都の森」の維持管理を行う。

1) 生物多様性保全のための維持管理、2) 社員への環境教育、3) 近隣に存在する自然保護地区周辺に対する緩衝機能の維持

【主な活動内容】

1) 生物多様性保全のための維持管理 および 3) 近隣に存在する自然保護地区周辺に対する緩衝機能の維持 のための活動。下草刈り、間伐、外来種等の駆除等の維持管理作業をエリアの特徴に合わせて行う。外来種等の駆除についてはシカやアライグマなどの影響調査を実施し、必要なエリアを特定し防護柵を設置するなど、専門家に相談しつつ対策を実施する。

2) 社員への環境教育 のための活動。環境保全活動を通じて、社員への環境啓発を実施する。

【モニタリング計画】

生物相（植物、昆虫類、哺乳類、鳥類）、登録サイト内（調整池周り、棚田跡、マツ林、植樹柵）

植物・昆虫類・哺乳類・鳥類について、直接観察・定点自動カメラ、専門家調査によるモニタリングを行う。

・基本的には毎年4～6月と10～12月。・年に2回の頻度で実施予定。・業者委託の専門的調査

・社員等の参加による環境保全活動についての調査・有識者によるモニタリング分析等の助言

【実施体制】

azbilグループ社員が中心となって、アズビル京都や周辺地域との連携も視野に、保全活動やその他の維持管理作業を行う。

活動の計画作成・更新においては、認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン、横浜国立大学との連携・協力を得ながら実施する。

【計画期間】

2025年9月～2030年3月

